

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1	室内騒音レベル							
2	設備騒音対策							
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能							
2	界壁遮音性能							
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)							
4	界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1	室温							
2	負荷変動・追従制御性							
3	外皮性能							
4	ゾーン別制御性							
5	温度・湿度制御							
6	個別制御							
7	時間外空調に対する配慮							
8	監視システム							
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1	昼光率							
2	方位別開口							
3	昼光利用設備							
3.2 グレア対策								
1	照明器具のグレア							
2	昼光制御							
3	映り込み対策							
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質							
2	アスベスト対策							
3	ダニ・カビ等							
4	レジオネラ対策							
4.2 換気								
1	換気量							
2	自然換気性能							
3	取り入れ外気への配慮							
4	給気計画							
4.3 運用管理								
1	CO ₂ の監視							
2	喫煙の制御							
Q2 サービス性能								3.0
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1	広さ・収納性							
2	高度情報通信設備対応							
3	バリアフリー計画							
1.2 心理性・快適性								
1	広さ感・景観							
2	リフレッシュスペース							
3	内装計画							
1.3 維持管理								
1	維持管理に配慮した設計							
2	維持管理用機能の確保							
3	衛生管理業務							
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1	耐震性							
2	免震・制振性能							
2.2 部品・部材の耐用年数								
1	躯体材料の耐用年数							
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔							
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔							
4	空調換気ダクトの更新必要間隔							
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管(VLP)、排水管(VP)、消火管(SGP-白)、Eは不使用。						
6	主要設備機器の更新必要間隔							

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.48	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			3.8	0.31	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = 0.09 < 0.1		5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			2.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	トップライトの採用		4.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	LED照明の採用		4.0	0.43	-	-	4.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR換算値=80%	4.0		-	-	
集合住宅の評価			-		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水コマ + 省水型機器		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.21	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン(路盤材)		3.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体 + 軽鉄 + 仕上材の採用		4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材を使用し、ODP=0かつGWP=3		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率 = 77%		3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用しない。		5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			1.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			1.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	